

富山県 中央植物園だより



リコリス・スプレングリ *Lycoris sprengeri* Bak. (ヒガンバナ科)

中国原産のヒガンバナの仲間で、多くの園芸品種の交配親になっています。ピンク色にうっすらと青紫色のすじが入った美しい花が咲き、ムラサキキツネノカミソリという和名がついています。8月頃に北池のほとりで見ることができます。

植物写真展 「水辺のマドンナたち」 撮影 / 発田奈穂里さん

Reports イベント報告「第12回さくらまつり」「第44回春のラン展」

Topic 植物園裏話「夏場の灌水事情」

News 園内ニュース「緑のコンサートが復活！」

Events 今後の注目イベント「特別展 富山県中央植物園 30年の軌跡」
「夜間開園 夜の熱帯植物探検」

Note 園内さんぽ「白の多い5月」

Reports イベント報告

第12回さくらまつり

今年のさくらまつりは、新年度早々4月1日～4日に開催しました。3月が暖かったせいか、ソメイヨシノは3月末に満開を迎えてしまいました。花が持ってくれるか心配でしたが、なんとか満開のまま、さくらまつりをスタートすることができました…!今年4年ぶりに、サンライトホールでのコンサートと呈茶



なんとか満開のままスタート!

第44回春のラン展

5月4日～5月6日には、富山県蘭協会との共催で、第44回春のラン展を開催しました。会場のサンライトホールには、エビネを中心に色とりどりの春らしいランが約200鉢並び、見ごたえのある展示となりました。また、3月の蘭まつり大会に引き続き、「ランと牧野富太郎II」と題した特別展示を行いました。牧



春のラン代表、エビネがたくさん並びました

席も復活し、日中はホールの中も多くの人でにぎわいました。夜間開園では、毎年恒例となったソメイヨシノやヤエベニシダレのライトアップに加え、牧野富太郎が最も愛したサクラとされる、「センダイヤ（仙台屋）」のライトアップを行いました。センダイヤの薄紅色の花が暗闇によく映えて、来園者のみなさんにとっても好評でした。(和久井彬実)



初めて行ったセンダイヤのライトアップ



特別展示「ランと牧野富太郎II」

野富太郎の生涯を紹介する年譜や、牧野博士が学名を発表したラン科の植物、キンセイランやイヌマムカゴについて紹介するパネルを展示しました。会期中は連休だったこともあり、県内外から多くの方が来園され、展示を楽しんでいかれました。(和久井彬実)

Topic 植物園裏話

夏場の灌水事情

梅雨が明けると夏本番。夏の高温と乾燥からくる水不足は、多くの植物にとって致命傷です。屋外展示園で地植えになっている植物でも、夏に好天が数日続くような場合は、さすがに人の手で灌水しなければなりません。園内には所々に中水（地下水をイオン変換した水）の元栓があり、ホースを引いて移動式スプリンクラーで灌水を行います。一方、圃場で鉢栽培をしている植物の場合、地植えの植物と違って鉢の中の空間が限られます。そのため、小さい鉢の植物ほど一度の灌水で得られる水の量は少なく、こま



ホースの中の水も日中温められてお湯になるので、冷たくなってから灌水します。

めな灌水が必要になります。中でも過湿が苦手な高山植物は、水はけがよい用土で植えられているため、鉢の中に水がとどまる時間がさらに短くなり、1日に2回灌水を行わなくてはなりません。また、1日の中での灌水のタイミングも重要です。日の高い時間帯に灌水を行ってしまうと、太陽の熱で鉢の中の水分が温められてしまい、植物が根腐れを起こしてしまいます。このため、夏の灌水は朝涼しいうちに行います。さらに、夕方にも灌水を行うことで、植物を水で冷やしてクールダウンさせると同時に、水の気化熱で夜温を下げる効果を狙います。気温が高い日には、鉢に水がかからないよう、周囲の地面に打ち水をすることもあります。夏の灌水は、植物を生きかすことも殺すこともある、注意が必要な作業なのです。(早瀬裕也)



真夏の夕方に萎れた鉢植え植物。この後灌水すると復活します。

めな灌水が必要になります。中でも過湿が苦手な高山植物は、水はけが

よい用土で植えられているため、鉢の中に水がとどまる時間がさらに短くなり、1日に2回灌水を行わなくてはなりません。また、1日の中での灌水のタイミングも重要です。日の高い時間帯に灌水を行ってしまうと、太陽の熱で鉢の中の水分が温められてしまい、植物が根腐れを起こしてしまいます。このため、夏の灌水は朝涼しいうちに行います。さらに、夕方にも灌水を行うことで、植物を水で冷やしてクールダウンさせると同時に、水の気化熱で夜温を下げる効果を狙います。気温が高い日には、鉢に水がかからないよう、周囲の地面に打ち水をすることもあります。夏の灌水は、植物を生きかすことも殺すこともある、注意が必要な作業なのです。(早瀬裕也)

(早瀬裕也)

News 園内ニュース

緑のコンサートが復活！

植物園では、園内で気軽に音楽を楽しんでいただくために、令和2年まで「緑のコンサート」という月例のミニコンサートを開催していました。しかし、出演者の滝沢卓さんが単独での演奏活動を休止されたことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、しばらくコンサートは行っていませんでした。今年度、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したこともあり、5月から緑のコンサートが復活しました！7・8月はお休みですが、9月から11月までは、毎月2回開催予定です。第1土曜日にはエレクトーンCiao(チャオ)のお二人、第3土曜日にはピアニストの村上めぐみさんが登場し、電

子オルガンの演奏を披露していただきます。時間は午後1時から、会場はサンライトホールのほか、天候によっては屋外での演奏も予定しています。クラシック、ポピュラーから童謡まで、季節に応じたさまざまなジャンルの曲が演奏される予定ですので、どうぞお楽しみに！
(高橋一臣)

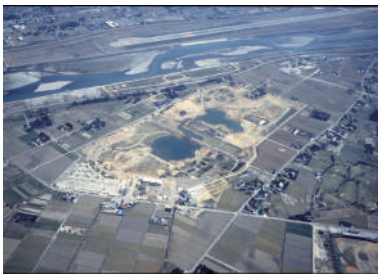


木陰で行われた5月20日のコンサート (Ciao)

Events 注目イベント

特別展 富山県中央植物園30年の軌跡 9月8日(金)～10月11日(水)

平成5年(1993年)10月1日に開園した植物園は、今年で30周年を迎えます。平成5年はJリーグ発足や記録的な冷夏でコメが不作となったことが思い出されます。屋外展示園のみの開園、展示温室の建設と植栽、雲南植物の導入、全面開園へと続き、現在に至るまで「日本海側初の総合植物園」として植物の収集展示、調査研究、教育普及の3本柱で歩んできました。この特別展では30年間の植物園の歩みを紹介します。



平成5年4月、開園直線の植物園

(吉田めぐみ)

夜間開園 夜の熱帯植物探検 8月25日(金)・26日(土)

熱帯や亜熱帯では夜に花を開き、香りを放つ植物が多数生育しています。夜行性のコウモリや蛾などの昆虫をおびき寄せて花粉を運んでもらうためです。植物園の温室のサガリバナやマツリカ、熱帯スイレンは夜のはじめ頃から開花して香りを放ち、バナナは夜に開花してたくさんの花蜜を滴らせますし、マメ科の多くは眠るかのように葉を閉じます。8月25、26日の夜間開園では、こうした夜に特有な熱帯植物の生態を観察してみてください。



夜に開花したサガリバナの花

(志内利明)

Note 園内さんぽ

白の多い5月

ガマズミ、ヒトツバタゴ、エゴノキ、ヤマボウシ、ウツギ…5月の日本の植物ゾーンでは、どこを歩いても白色の花が目に入ります。そんな中、ヤマハンノキの葉っぱの裏を見ると真っ白な虫が！白いとげが全身に生えたイモ虫(?)のような、不思議な



5月初旬に咲くガマズミの仲間、ヤブデマリ

見た目をしています。調べてみると、イモ虫ではなく、ミツクリハバチというハバチの仲間(の幼虫)でした。白いとげは、体から分泌された蠟物質なのだそうです。白い花と白い虫と、5月に白いものを多く見かけるのは偶然なのか？何にせよ、白は新緑によく映えてきれいです。(和久井彬実)



ミツクリハバチの幼虫。真っ白！

Event Schedule

※イベント参加には入園料が必要です。高校生以下・70歳以上無料。
※日程・内容などが変更になる場合がございます。最新の情報はHPでご確認下さい。

企画展・特別開園

7/12 (水)	環境省アクティブ・レンジャー 写真展—活かして護る国立公園 会場：サンライトホール
7/21 (金) → 8/30 (水)	日本植物園協会連携企画 植物園で牧野富太郎・ 富山県中央植物園の牧野富太郎 会場：サンライトホール
9/8 (金) → 10/11 (水)	特別展 富山県中央植物園 30年の軌跡 会場：サンライトホール
6~7月の開花日 2日間	夜間開園「ゲッカビジン観賞」 19:00 ~ 21:30 夜間入園料：250円
8/25 (金) → 26 (土)	夜間開園「夜の熱帯植物探検」 18:30 ~ 21:00 夜間入園料：250円

講演会・講習会・観察会

7/21 (金) → 8/30 (水)	夏休み子ども企画「森のクラフト」 会場：サンライトホール
※8/4 (金) - 8/6 (日) は休止	
8/4 (金) → 6 (日)	夏休み子ども企画「オオオニバス に乗ってみよう」 会場：北池 各日 午前 9:30 ~ 午後 13:30 ~
9/8 (金)	特別展オープニング解説 会場：サンライトホール 13:30 ~ 14:30
9/24 (日)	第31回 TOYAMA 植物フォーラム 会場：サンライトホール 13:30 ~ 16:00 ※要申込

ボタニックガーデニングクラブ

8/27 (日)	豆本づくり 会場：実習室 13:30 ~ 15:30 ※要申込
----------	---------------------------------------

※申込方法はイベントによって異なります。
詳細はHPをご確認下さい。

月例行事

植物ガイド
第1, 2, 4, 5日曜日：ボランティアと歩く植物園 第3日曜日：園長と歩く植物園 13:30 ~ 14:00 集合場所：サンライトホール
緑のコンサート
9月~11月の第1・3土曜日 13:00 ~ 会場はサンライトホールまたは屋外（天候によります）

入園案内

[開園時間] 2月~10月 9:00 ~ 17:00 (入園は16:30まで)
11月~1月 9:00 ~ 16:30 (入園は16:00まで)
[休園日] 毎週木曜日
4月第1, 2とGW、お盆、祝日の場合は開園
年末年始 (12月28日~1月4日)
[入園料] 大人 500円 / 団体 (20名以上) 400円
冬期 (12月~2月) 一人 300円 / 団体 240円
年間パスポート (購入日より1年間有効) 2,100円
高校生以下・70歳以上は通年無料
[交通案内]
バス：富山地鉄バス JR 富山駅から「ファボーレ経由萩の島循環」
または「ファボーレ経由速星行き (休日のみ)」に乗り、
「中央植物園口」下車、徒歩約15分
車： 富山市中心部より約15分
北陸自動車道富山ICより約15分
JR 速星駅より約8分

友の会 会員募集

[特典] ①友の会会員証で無料入園
②月例会やバスツアーなど会員限定行事への参加
③「友の会会報」と「植物園だより」を年4回お届け
④メールで最新情報をお届け
⑤印刷物やグッズの割引価格購入
⑥部会活動への参加
[年会費] ※有効期限は入会日から翌年3月31日まで
一般会員 / 2,500円
シルバー会員 / 1,500円 (4月1日時点で70歳以上の方)
ジュニア会員 / 500円 (4月1日時点で高校生以下の方)
賛助会員 / 20,000円 (一口)
[入会のお申込み]
入園口で直接、もしくは専用郵便振替用紙にて郵便局でお手続き
ください。詳しくはホームページをご覧ください。

富山県中央植物園だより No.108

令和5(2023)年6月25日発行
編集・発行/富山県中央植物園
(指定管理者：公益財団法人 花と緑の銀行)
〒939-2713 富山市婦中町上轡田42 TEL 076-466-4187



<https://www.bgtym.org/> 公式 Instagram